

2013年1月23日

渋谷駅周辺地区における都市計画の提案について

東京急行電鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
東京地下鉄株式会社
道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合
東急不動産株式会社

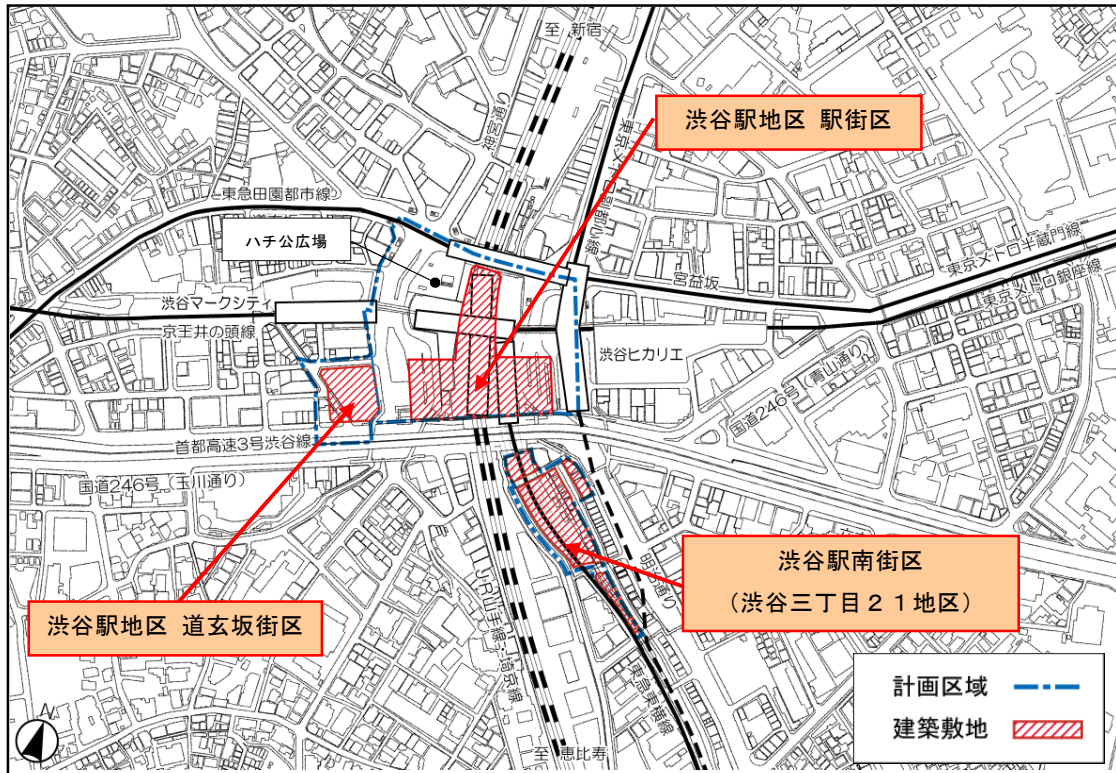
日本を代表するターミナル駅である渋谷駅を中心とした渋谷駅周辺地区は、2005年12月の都市再生緊急整備地域指定や「渋谷駅中心地区まちづくり指針2010（平成23年3月渋谷区策定）」等のまちづくりの方針に基づき、渋谷駅街区土地区画整理事業および鉄道改良事業と連携した抜本的な再開発について、2012年4月開業の渋谷ヒカリエを皮切りにその具現化を進めています。

本日、渋谷ヒカリエに続く「渋谷駅地区 駅街区開発計画」「渋谷駅地区 道玄坂再開発計画」「渋谷駅南街区プロジェクト（渋谷駅三丁目21地区）」の3つの事業に関し、各事業者より東京都知事に対して都市再生特別措置法に基づく都市再生特別地区の都市計画提案を行いましたので、お知らせいたします。

3つの事業は、現在のJR山手線、東急東横線、東京メトロ銀座線の渋谷駅直上に位置する駅街区を中心として近接し、①交通結節機能の強化による快適でわかりやすい歩行者ネットワークの形成、②生活文化の発信拠点としての魅力を増し街の国際競争力を高める都市機能の導入、③防災機能の強化と環境改善への取組み、等を連携して一体的に取り組むもので、同地区が抱えてきた積年の課題の抜本的な解決を目指します。また、新しい価値や文化が生まれ育つ環境を整えることで、世界中の高感度な人や企業が注目するエンターテインメント性あふれる渋谷を実現し、渋谷駅周辺地区から東京、さらには日本全体のますますの発展につなげてまいります。

※道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合は、2008年7月に設立され、東急プラザ渋谷及び隣接する街区との一体的な再開発の検討を進めて参りました。東急不動産株式会社は、同準備組合に地権者及び事業協力者として参画しております。

□計画地



□完成イメージ



ハチ公広場付近上空より恵比寿方面を望む

2013年1月23日

渋谷駅地区 道玄坂街区開発計画に関する都市計画の提案について

東急不動産株式会社

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：金指潔）は、道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合（以下、「道玄坂準備組合」という。）に地権者及び事業協力者として参画し、道玄坂準備組合の地権者と共に、東急プラザ渋谷及び隣接する街区における一体的な再開発の検討を進めて参りました。道玄坂準備組合が、「渋谷駅地区 道玄坂街区開発計画」に関し、本日、東京都知事に対し、都市再生特別措置法に基づく都市再生特別地区の都市計画提案を行いましたので、お知らせいたします。

当街区は日本を代表するターミナルである渋谷駅に隣接しており、渋谷駅西口の玄関口として再生が期待されています。現在の渋谷駅西口交通広場における様々な課題を解決するため、民地の一部にバスターミナルを導入し、渋谷駅街区土地区画整理事業及び渋谷駅地区 駅街区(※)と一体的な交通広場の再編を行います。これにより、渋谷駅から渋谷中央街等の西側の街への歩行者ネットワークは、安全・幅広・まっすぐになり、さらなる街の賑わいが期待されます。また、交通渋滞緩和を図る地下車路ネットワークの整備や、災害時の帰宅困難者支援空間の確保等による防災機能の強化を行います。

地上17階、高さ約120メートルとなる計画建物は、1階の一部に国際空港へのダイレクトアクセスを可能にする空港リムジンバス発着場を含むバスターミナルを整備する他、高層部にハイグレードオフィス、中低層部には世界から集客し街の賑わいに貢献する商業施設を配置します。また、クリエイティブ・コンテンツ産業や外国系企業等の進出支援施設、国内外の来街者を対象とした観光支援施設等の整備を行い、産業や都市型観光の拠点としての機能を高めることで、街の国際競争力を強化します。

当街区は、渋谷駅周辺地区における都市再生の一翼を担うプロジェクトとなるとともに、世界中から常に注目を集めるエンターテインメント性あふれる街の実現に貢献します。

※本提案は、近接街区である「渋谷駅地区 駅街区」と一体となった提案を行なっております。

本開発計画の概要は別紙の通りです。

(別紙)

□計画建物の概要

事業主体	道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合
所在	東京都渋谷区道玄坂一丁目2番地・8番地
用途	店舗、事務所、駐車場等
敷地面積	約 3,330㎡
延床面積	約59,000㎡
階数	地上17階、地下5階
高さ	約120m
予定工期	2015年度～2018年度
開業予定	2018年度

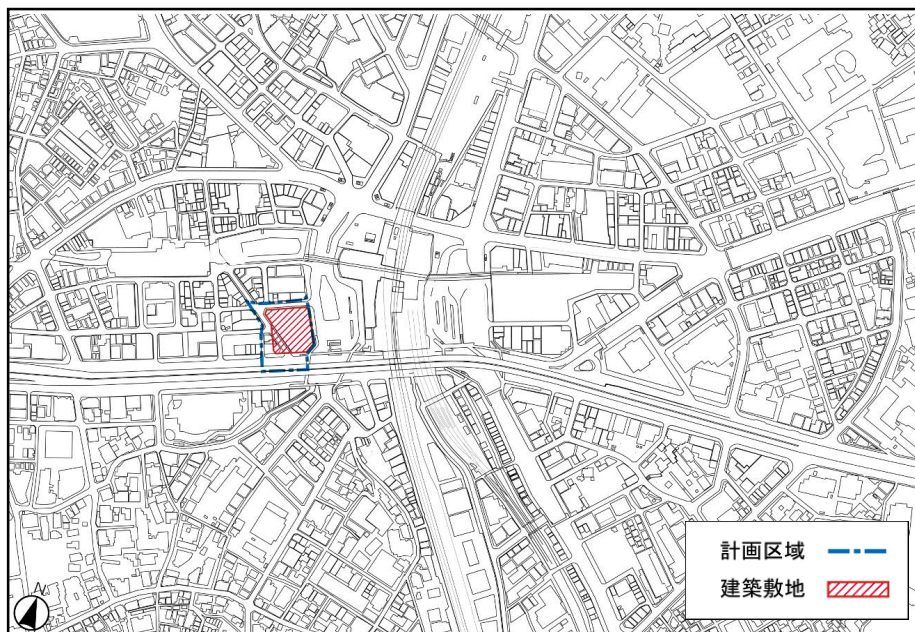
□計画における整備方針

本計画地は、都市再生特別措置法に基づく特定都市再生緊急整備地域内に位置しており、緊急整備地域の地域整備方針、渋谷駅中心地区まちづくり指針2010、渋谷駅中心地区基盤整備方針等の上位計画及び本計画地の立地特性等を踏まえ、以下の3つの項目を整備方針といたします。

- (1) 鉄道改良事業などと合わせた市街地の再編による大規模ターミナル駅の交通結節機能の強化と利便性・安全性の向上
 - ・市街地再開発事業による街区再編により都市機能を更新し、街の賑わいに貢献します。
 - ・民地の一部にバスターミナルを導入し、渋谷駅西口交通広場の再編に貢献することで、渋谷中央街等の西側の街へとつながる歩行者ネットワークを強化します。
 - ・駅施設及び周辺市街地をつなぐ縦動線アーバン・コア、歩行者デッキの整備を行います。
 - ・交通渋滞の緩和を図る地下駐車場をつなぐ地下車路ネットワークを整備します。
- (2) 国際競争力強化を高める都市機能の導入
 - ・最先端の文化を生み出すクリエイティブ・コンテンツ産業等や外国系企業の進出を促す産業進出支援機能を導入します。
 - ・国際空港へのアクセスを強化する空港リムジンバス発着場の整備や、国内外の来街者を対象とした観光支援機能を導入します。
- (3) 防災機能の強化と環境への取組み
 - ・災害時の帰宅困難者支援機能を確保します。
 - ・高効率で自立性の高いエネルギーシステムを導入します。
 - ・屋上緑化等をはじめ、環境負荷の軽減に取り組みます。

こうした整備方針に基づき、本事業は渋谷駅周辺地区における都市再生の一翼を担うプロジェクトとして、基盤改良と歩行者ネットワークの形成を推進し、周辺地域への回遊性・連続性の強化・推進に貢献します。また、国際競争力強化を図るための施設を整備することにより、渋谷の活性化のみならず、東京そして日本の活性化に貢献してまいります。

□計画地



□完成イメージ



渋谷駅西口交通広場から望む

(参考)

【駅街区開発計画に関して】

東京急行電鉄株式会社 ホームページ <http://www.tokyu.co.jp/>
東日本旅客鉄道株式会社 ホームページ <http://www.jreast.co.jp/>
東京地下鉄株式会社 ホームページ <http://www.tokyometro.jp/index.html>

【渋谷駅南街区プロジェクトに関して】

東京急行電鉄株式会社 ホームページ <http://www.tokyu.co.jp/>